

「学校から見た家庭・地域との連携・協働」について (学校長事前アンケートより)

1 学校・教員の負担軽減・教育活動支援に繋がっている事例 (家庭・地域との関係)

Q. 学校・教員にとって、負担軽減・教育活動支援に繋がっている事例はありますか？

ある！

領域	項目	内容
学習 ・ 体験活動	外部講師	実習教科等の指導支援(家庭科ミシン実習等) 福祉教育(車椅子・点字・認知症等) スポーツ指導 昔遊び体験指導 地域商店街見学支援
	総合的な学習	環境体験学習指導者
	生活科 (農業体験支援)	田植え・芋植え・芋掘り・米の食べ比べ、金ゴマ・綿等の栽培指導者 収穫祭支援
	まち探検協力	校区内事業所・駐在所 探検
	読み聞かせ支援	業間休みの読み聞かせ 放課後の読み聞かせ
	図書室運営支援	学校図書室の運営 本の整理・修理 ブックポケット作製
	体験教育支援	トライやる・ウィーク支援
	学校菜園支援	学級農園(学習園)における野菜栽培補助 耕作作業支援(耕し・畝づくり)
	校地周辺の美化	校地周辺の美化作業
安全 ・ 防犯	朝の立当番	朝の立番・登下校時の見守り …PTA(月2回)、老人会(月1回)、個人(毎日)、駐在所署員(毎日) 各家庭1回の交通立番(挨拶・見守り等)
	カーブミラー清掃	PTA生活安全部作業 通学路危険箇所の点検 等
	ストップマーク付け	PTA生活安全部・地区委員等作業
	各種補導活動	巡回補導 夏祭り等の補導活動
環境整備	PTA奉仕作業	体育館の窓ふき、雑草の除去、植木の剪定 等
	資源リサイクル協力	学校・家庭の資源リサイクル支援 PTA活動資金等 アルミ缶回収等
	運動場草刈り	ゲートボール参加者(年2回) 個人ボランティア(随時)
その他	各種行事運営支援	参観日・オープンスクール等の受付 運営 駐車場整理支援 マラソン大会安全支援 等
	家庭・保護者支援	保護者支援(民生委員・児童委員 等)



2 学校・教員にとって、負担に感じる事例・改善を求めたい事例 (家庭・地域との関係)

Q. 学校・教員にとって、負担に感じ、改善を求めたい事例はありますか？

ある…。

領域	項目	内容
行事	地域行事参画要請	地域行事等への参画要請
PTA	学級委員選出	少ない家庭数の中で、委員依頼すること
スマホ・ 電話対応	スマホトラブル等	スマホに係る児童間のトラブル対応 ゲーム課金に係る指導・対応 写真や個人名等の個人情報に係る書き込みトラブル LINEトラブル
	勤務時間終了後の 電話対応	家庭への連絡が遅い時間でないを通じない 一部の保護者からの苦情連絡 等
ICT	タブレット使用	支給されたタブレットPCの家庭での利用確認 問題行動事案の未然防止



3 学校として家庭・地域との連携・協働体制を強化したいと考える分野・内容

Q. 学校として家庭・地域との連携・協働体制を強化したいと考える分野・内容はありますか？

ある！

領域	項目	内容
安全	地域における見守り活動	下校時の見守り活動 今後の見守り隊の方々の世代交代が円滑に進むこと 高齢化が進む中での見守り活動後継者不足
学習	農業体験など	児童にとって価値ある体験 指導者の世代交代が円滑に進むこと
スマホ	スマホの使い方指導 家庭内ルールづくり	スマホを持たせるならば、家庭における指導（ルールづくり等）が必要不可欠 家庭内で、スマホの使い方について話し合いをいただく等の指導支援
部活指導	部活指導補	教員にとっても生徒にとってもプラスになる指導員を、地域の方をお願いしたい。 練習試合への送迎支援や応援 小学校陸上クラブの指導 等
学習	ゲストティーチャー	地域で活躍されている方の生き方、地域の歴史や伝統に関しての指導
	家庭学習	家庭学習習慣の確立支援（学習時間確保、学習場所確保 等）
地域	地域行事への参画	地域行事への参画（地域行事での吹奏楽演奏、ボランティア支援 等）
環境整備	運動場、遊具の整備	遊具の修繕、ペンキ塗り トラックロープの張り直し 雑草撤去 等

4 学校と地域・保護者との連携促進、地域・家庭教育力の活用、地域・家庭との信頼関係の確立、課題等について（地域とともにある学校づくりに関する自由意見）

- ① 子どもたちが地域に恩返しできる活動（例：花壇の世話、公民館の清掃等）を紹介していただければありがたい。（日々、地域の方々に支えられていることへの感謝として）
- ② 現在の学校評議員制度を更に進め、中学校区毎に地域連携協働体制を構築する。その中で、下部組織を作るなど、コミュニティ・スクールへの一歩を踏み出しても良いのではと考える。そこから、家庭・地域も含めた小中一貫教育の流れができるのではないかと。
- ③ 教員の負担が年々増加してきている。家庭でできることは家庭で行ってほしい。（生活習慣の確立、しつけやルールを守ることなど）
- ④ 地域を元気づけるという観点において、学校の役割や子どもの存在は非常に大きい。高齢化社会の中で地域住民がお互いに顔を合わせることでできる学校行事を、地域住民は非常に楽しみにされている。地域の活力無くして学校運営は難しい状況がある。地域に何もかもお願いするのではなく、Win-Winの関係を模索したい。
- ⑤ 現在、新型コロナウイルス感染症予防のため制約が多い調理実習を、家庭において実施（提案）
- ⑥ 地域の公民館に公共Wifiを導入し、家庭にネット環境の無い子どもがタブレットを活用できる環境整備（提案）
- ⑦ 地区ごとに「学校支援人材バンク」登録を行い、地域人材の円滑な登用を促進（提案）
- ⑧ 地域そのものも変化してきたように感じる。学校を含む地域の範囲が拡大すれば、「地域の濃度」はより薄くなる。それをどう乗り越えていくかは一つの課題である。
- ⑨ 学校と家庭が協働するには、双方にメリットが必要。学校が生み出せるメリットは、子どもの成長である。子どもの成長する姿を主体的に発信するしかない。地域の将来を担う子どもたちを育てていけるよう、学校は努力を続けなければならない。
- ⑩ 地域・家庭の教育力活用は、交流により教員が地域や家庭を知ることが大切。教員の中には、外部の方が来られるとその準備や対応が負担になるという意識がある。相互理解が必要。
- ⑪ 学校と地域・家庭間でお互いの関わりが無い中に信頼関係は生まれにくい。家庭や地域と十分話す機会を持つべきである。